

# 藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。



## ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長

市川市長 大久保 博

師走の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。市川市芸術文化団体協議会加盟団体の皆さまにおかれましては、日頃より、本市の芸術文化の振興に多大なるご尽力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

市川市は、万葉集に「真間の手児奈」や「真間の継橋」が詠まれ、その名を全国に知られるようになりました。近代においても数々の文化人・芸術家が在住し、数々の作品の舞台となってきました。本市

では、こうした豊かな文化的土壌を活かしていくため、基本目標の一つに「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」を掲げ、様々な文化施策に取り組んでおります。

ただ、本市の目指す文化の薫り高いまちづくりを推進するためには、皆さまのご協力が不可欠です。市川市芸術文化団体協議会は昭和49年の設立以来35年以上にもわたり活発にご活動されているところがっております。今後も加盟芸術文化団体が芸術分野の垣根を越え、相互に協力理解を深め、市民に良質な文化芸術に触れる機会をご提供いただきたく、お願い申し上げます。

最後になりますが、市川市芸術文化団体協議会の益々のご発展を祈念いたしましたこと挨拶とさせていただきます。

## バス研修旅行

『鎌倉く歴史を訪ねて』

穏やかな秋日和となった十月二十九日、バスは由比ガ浜から一路、若宮大路に入りました。鶴岡八幡宮を参拝し、神奈川県立近代美術館で現代作家「岡本和郎展」を見学。昼食後は高徳院の本尊である「鎌倉大仏」を拝顔。今年三月の強風で倒壊した樹齢百年といわれる大銀杏には無数の新芽が育ち、新しい命が受け継がれていました。バスの中では懐かしい昭和の愛唱歌を皆で歌い、語り継がれている市川の民話に耳を傾けながら、市川の歴史を再確認した歴史の旅でもありました。

市川市花道協会 野口春和



## 参加団体からの

### メッセージ

#### 市川市三曲協会

#### 三曲とは

市川市三曲協会は毎年秋に市川文化会館に於いて市民の皆様向けに演奏会を開いており今年で三十五回目を迎える事が出来ました。三曲とは琴 三絃 尺八を指し昔は「六段」「千鳥の曲」から有名な「春の海」等の演奏を又最近では洋楽に至るまでの様々な分野の曲の演奏なども聴く事が出来ます。それらの楽器は全て自然の素材から出来ておりその音色はあたかも自然に溶け込むような優美さを漂わせております。各々の楽器の音色もさることながらそれらを合わせた三曲演奏は室内楽同様三者の息をぴたりと合わせる爽快感は

何にも換えられません。又

その楽器の稽古は冬でも暖房が不要な程 熱が入りその運動量はルームランナーに匹敵すると言われ私達の筋肉が不思議と少しも衰えないのはそのためではないかと思えます。一度 その魅力に取り付かれると一生続ける方が殆どです。日本古来の楽器で昔からの楽曲を継承している事の自負・・・という大袈裟ですが、我々の熱意を少しでもお汲み取り頂ければ幸いです。  
(宮本誠子)

#### 市川民話の会

#### 市川は民話の宝庫

市川民話の会は、市川の各地域に伝わる民話を採話し、その地域に伝える活動に力を入れています。主催事業

として、毎年数回、地域の公民館などで「市川の民話のつどい」や「語りを学ぶ会」を開催しています。加えて、街回遊展や小中学校 文化団体等からの要請に応じて、その街ごとの民話を語っています。今年の秋は、市川市主催の井上ひさしさん顕彰の催しに参加し、井上ひさしさんにまつわる民話を中心に、「市川の民話のつどい」井上ひさし作品とともに「11月13日土曜日14:00〜メディアパーク」を開催します。また、今年度は原点に戻って、地域の古老の方々からお話を聴くことも、積極的にしています。市川の民話と一口に言っても、それぞれの街ごとにさまざまな話が伝えられています。地域によって特色があるの

で、語る話をできるだけその土地に縁のあるものを選ぶようにしています。それらの話は、決して「過去形」ではなく、今もその地区の人々の生活習慣に根付いたり、地名や行事に残されたりしています。市川民話の会の先輩たちが、古老などから採話を始めて既に三十年以上が過ぎました。口承文芸というのは語る人がいなければ消えてしまうものです。市川に伝わる民話を、文化として子どもたちにも大人の方々にも伝えていきたいし、何より神秘的で面白い話がたくさんあるので

(小林路子)



## 市川市手工芸連盟

手工芸公募展の裏方記録

サア、十二日は九時三十分集合ですよ。皆さん頑張つていきましよう、と別れて私は其の夜ねむる事が出来なかつた。半年前の三月、不注意で足に怪我をして歩く事が困難だった。明日からは私の正念場。痛い、疲れた等の愚痴は云うまいと心に誓い、タクシーを呼んで会館迄。大分遅れて到着。私の仕事は何もない。会員の仕事を見つめている丈。公募展の受付が始まった。会員それぞれの役は決まっているが見事に手際よくこなしていく。明日は審査の日である。十時に美術の先生にお願いしてあるのでおまかせだ。

面倒な顔もなく飾付迄を仕上げて夕方帰られる、有難い事。その分会員が受賞者へのお知らせを出す。次、火曜で休みであるが、副理事が賞状と入賞者名簿を持って書道家に頼みに行く。明日から私も早く行く事に……。会員の皆様有難う、本当に有難う御座いました。今日から公募展が始まる、上出来である七日間終わって大成功であった。本当に御苦労様でした「感謝」

(益子智仔)

## 市川交響楽団協会

六十年の歳月を通して

昭和26年(1951)年に故村上正治先生が創設した市川交響楽団協会は、多くの演奏団員と、地域音楽活動にご理解

のある多くの支援者のもと、平成23年には創立60年を迎えることとなりました。また、演奏会も22年12月5日の市響「ファミリア交響楽コンサート」で第351回となりました。平成22年5月の演奏会から23年7月の市響主催の演奏会までを「市川交響楽団協会60周年記念シリーズ」として実施いたします。また、23年2月19、20日の二日間にわたり市川市文化会館にて「市響の日」を開催いたします。

60年という歳月を通して、これまでの活動を顧みて、今後の自身のあるべき姿を模索する大切な節目したいと思います。

(星 乗昭)



## 千葉県文化功労賞受賞

市川市芸術文化団体協議会

会長 日倉 道代

”おめでとございます”  
このたび文化の佳き日に、千葉県より文化功労賞を受賞致しましたことは、この上ない光栄なことでもあり、喜びでもございます。

クラシック・バレエと出会い六十数年、唯バレエが好きという一念だけで、ここまでの道研鑽に励み、少しでも社会のお役にたてるように努力していく所存でございます。今後ともよろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

# 各団体の22年度活動情報

第35回市響「ジュニアオーケストラ演奏会」	5/5 (祝)	文化会館大ホール
第22回市川市写真展	6/15 (火) ~ 6/20 (日)	文化会館展示室
第348回市響「交響楽の午後」	7/19 (祝)	文化会館大ホール
市川市手工芸公募展	9/15 (水) ~ 9/19 (日)	文化会館展示室
第349回市響「秋のコンサート」	9/20 (祝)	文化会館大ホール
オペラ公演 水木洋子作品「ちゃんちき」 & ガラコンサート	9/26 (日)	文化会館小ホール
第32回市川市民合唱祭	11/6 (土) 11/7 (日)	文化会館大ホール
市川三曲協会第35回定期演奏会	11/7 (日)	文化会館小ホール
第33回市川民話の会の集い	11/13 (土)	市川市文学プラザ
第350回市響「合唱の集い」	11/21 (日)	文化会館大ホール
市川市吟剣詩舞道大会	11/21 (日)	文化会館小ホール
第351回市響「ファミリー交響楽コンサート」	12/5 (日)	文化会館大ホール
第28回市川市洋舞踊合同公演	12/12 (日)	文化会館大ホール
第66回いけばな展	3/4 (金) ~ 3/7 (月)	文化会館展示室・大会議室

## 第17回 市川市芸術文化集會

平成23年2月13日(日)市川市文化会館大会議室 13:30から

- 基調講演 「市川の国際交流における芸術・文化とは」  
～ローゼンハイム市を訪れて～

講師 市川市文化振興財団理事長 千葉 光行氏

- シンポジウム 「市川の国際交流における芸術・文化の翼を広げよう」

コーディネーター 小林 路子

パネラー

畝本 昌介氏(市川市ユネスコ協会会長)

成田 久江氏(市川市国際交流協会副会長)

田中 ローラ ライアン氏(市川市国際交流協会)

### 編集後記

新体制をあゆみ始めた市川市芸術文化団体協議会。“芸文いちかわ”が少しでも応援できるように頑張ります。臼倉会長の千葉県文化功労賞受賞はとてうれしいニュースでした。

広報部 酒井



編集・発行 市川市芸術文化団体協議会 広報委員会 連絡先 047-334-7832 (酒井)

事務局 〒272-0097 松戸市栗山171-2 星方

ホームページ <http://www.geibun.org>